

事業計画名【平成25年度】

木製室内ドア（側面Vカット納まり）加工設備導入による市場競争力の強化

Overview ～事業概要～

- 新規設備導入で、成型工程における生産性が向上し、材料費も削減
- 高度化したVカット技術を応用した製品の市場競争力が向上

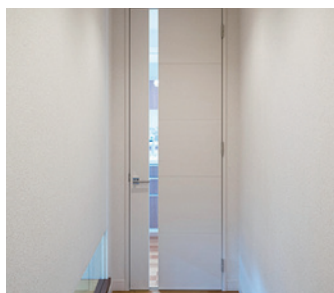
Products

～取扱商品～

「木」をみつめたテクノロジー 株式会社トーマ

当社は住宅設備機器・住宅部材・木工製品の企画・開発・製造を手掛けており、社員1人ひとりが知恵を絞り、個々の創意工夫を結集することで、様々なアイデアを製品化へと導いてきた。なかでも、当社が独自に開発した「Vカット工法」が技術の新境地を開拓したように、モノづくりに対するまっすぐな思いを原点に、私たちの挑戦はどこまでも続いていく。

【室内ドア】



【V-TISS LIGHT】



【クローゼットドア】



BackGround

～事業化にいたる経緯・背景～

【低価格競争に陥った住宅用内装ドア市場】

住宅用内装ドア市場では、今後の市場規模縮小に対処するため、自社での内製化や海外生産シフトを推し進めている。

現在、業界のスタンダードであるフラッシュドアは、低価格競争に陥っており設備投資力の強い大手企業の独壇場になりつつある。

【当社独自技術（Vカット技術）の一般化による、市場優位性の限界】

当社ではVカット技術を活かしたモノづくりにこだわり、他社と差別化を図ってきたが、ここ数年、その技術も市場ではかなり一般的になってきており、それだけでは価格競争力の優位性を維持できなくなっている。

【Vカット技術の高度化と生産性の向上による市場競争力強化】

Vカット技術をさらに高度化した製造方法により他社との差別化を行うとともに、作業工程でネックとなっている手作業の成型工程の自動化により生産性の向上を図り、市場環境変化への対応力と価格面における市場競争力をつけ、シェアの拡大を図る。

※Vカット工法

化粧板の、木目などを印刷した表面シート1枚を残し、裏側からさまざまな角度のVカットを入れることで、自由に折り曲げられる画期的な加工方法。



■代表者 代表取締役社長 当麻 和重

私たちが一貫して目指しているのは、ここち良い住環境に求められるさまざまなモノづくりを通して、人々の暮らしや社会に貢献することです。「独創的技術とアイデアによる、オンリーワンのモノづくり」。この言葉に私たちの製品づくりにかける信念が集約されています。これからも、その変わらぬ信念を貫き、100年企業をめざし、さらに遙か先の未来にも名を残す企業であるべく邁進して参ります。

Contents

～事業の詳細・成果～

～Vカット技術の高度化した製造方法～

Vカットの成型工程内で手作業であった表面材の折り曲げと、側面へ圧力をかける工程を自動化することにより、生産力・品質の向上を図り、手作業による人的コストも削減できた。

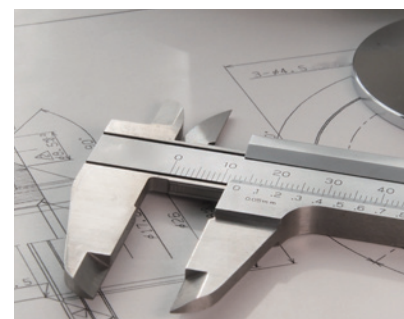


Task

～事業化における課題～

課題 隙間精度の向上

当初目標としていたゼロコンマ単位の隙間精度に対して、部材によりばらつきがあり、歩留まりが当初想定の数値に達しなかった。



Solution

～解決への道筋～

施策 部材の精度向上

芯組工程まで遡って作業の見直しを行い、部材の精度をさらに高めることで、本事業の品質に対する効果を最大限に享受できるようにしている。

施策 色柄に合わせた調整によるVカット精度の向上

色柄ごとに細かく設定を変更し、そのデータを蓄積・応用することにより、Vカット技術の更なる向上につなげている。

Future

～今後の事業スケジュール～

- 既存得意先に対する、価格面を含めた拡充提案、製品未導入得意先に対する新規提案を行い、最終的には、新規メーカーへの提案を実施することで、国内シェア1%獲得を目標とする。
- 将来的に当該技術を当社主力商品であるクローゼットドアにも展開し、更なる売上向上を目指す。
- 側面Vカット納まりドア（本事業に係わる売上高）：今後5年間で280%を目標。

株式会社 トーマ

■設立 昭和35年4月

■事業内容 住宅設備機器・住宅部材・木工製品の企画・開発・製造

■本社所在地 奈良県大和高田市東雲町13-4

■URL <http://www.e-toma.com/>

■資本金 5,000万円

■従業員数 146名

■TEL 0745-52-6671

■E-MAIL info@e-toma.com

「木」をみつめたテクノロジー

TOMA